

月 日 曜日

今日の調子は



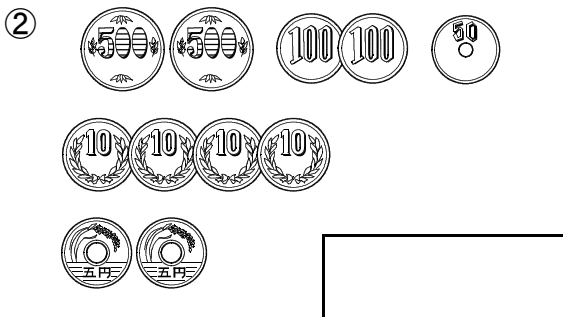
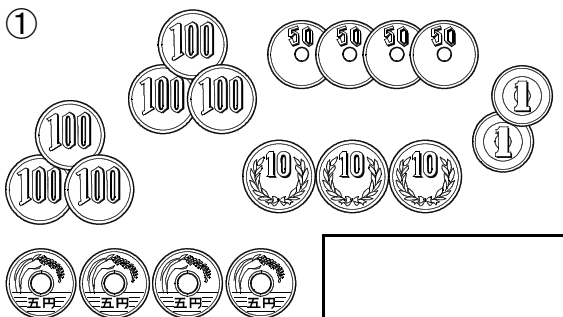
制限時間



分間

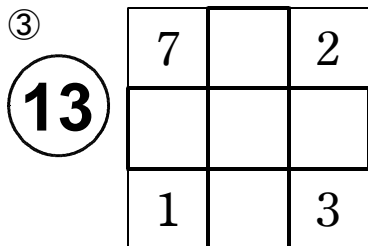
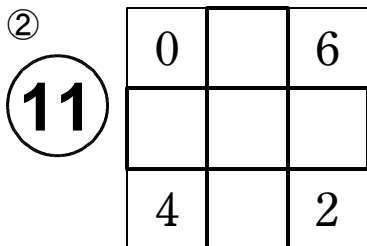
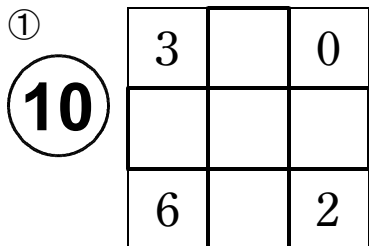
数と数の関係(演算)を推理・思考し、計算の工夫を発見します。

1 お金は、全部でいくら？

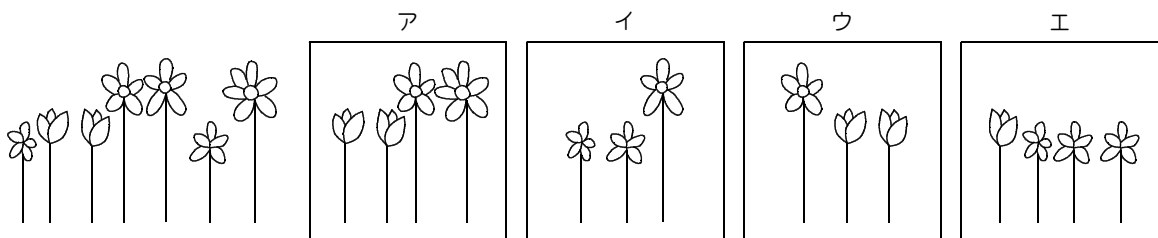


2 たて・横が、たして ○ の中の数になるように、□ の中に数字を入れよう。

* 入れる数字は、0でも2けたの数でもいいし、同じ数を2回使ってもいいよ。



3 左はしの図は、右側のどれとどれの組み合わせ？



4 □ の中に数字を入れて、式を完成させよう。

① - 16 = 14

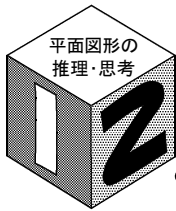
② 25 + = 41

③ × 4 = 36

④ 24 ÷ = 3

⑤ 7 × - 5 = 23

⑥ 15 + ÷ 3 = 19



月 日 曜日

図形の合成・分解(組み合わせ, 移動, 回転, 対称など)を推理・思考します。

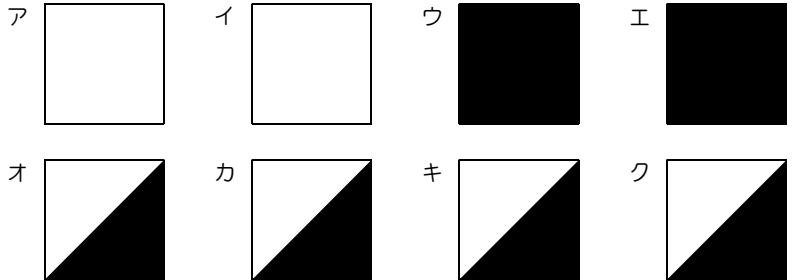
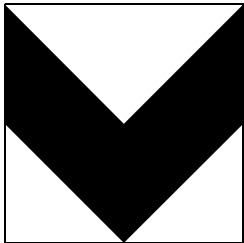
制限時間



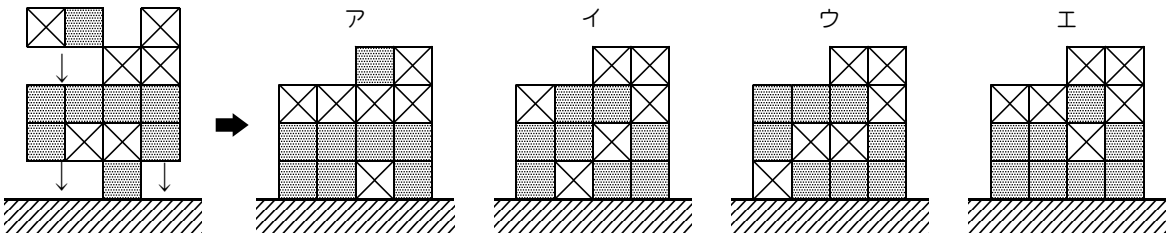
5分間

1 ^{みぎ}右のどの図形を組み合わせたら、^{ひだり}左の図形になる？

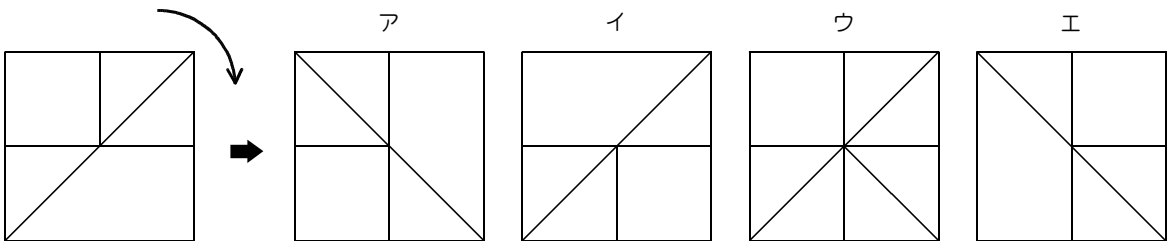
^{ずけい}*図形は、^{かいてん}回転させてもいいよ。



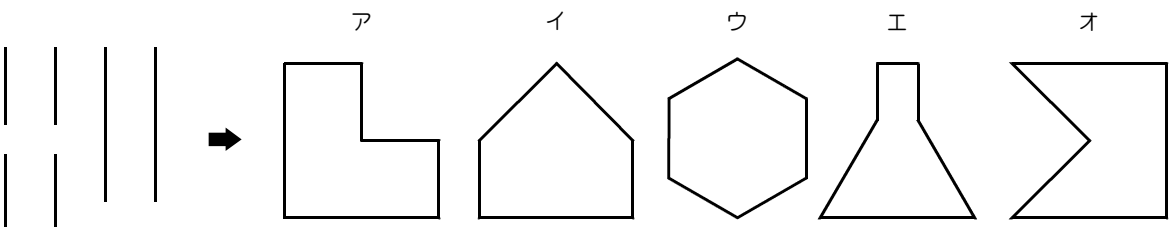
2 ^{ひだり}左のブロックがそのまま^{しず}沈んで^{そこ}底についたら、^{みぎ}右のどれになる？

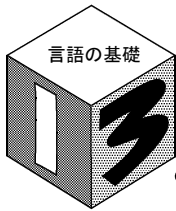


3 ^{ひだり}左の図形を、^{ずけい}矢印の向きに180度回転すると、^{みぎ}右のどれ？



4 ^{ひだり}左の線分を組み合わせてできるのは、^{みぎ}右のどの図形？





月 日 曜日

ことばの意味などを理解し、自分の考えを滑らかに表現します。

制限時間



分間

1 ^あ空いているところに文字を入れて、^{もじ い}単語を完成させてね。

① ル イト

② い かん

2 ^{した もじ なら か}下の文字を並べ替えて、^{たんご}単語にしてね。

① スピトニア

② ぶさんく

3 ^{した たんご}下の単語の、^{さいご}最後の音と^{おと}同じ音で^お終わる^{たんご}単語を、5つさがそう。

^{がっこう}
学校

1. _____ 2. _____ 3. _____

4. _____ 5. _____

4 ^{れい おな かんけい ごく}【例】と同じ関係の語句はどれ？

① ^{れい}【例】ピザ — チーズ

^{とい}【問】コロッケ — ？

Ⓐ

きつね色

Ⓘ

あつい

Ⓢ

^{たまご}玉子

Ⓝ

じゃがいも

② ^{れい よろこ}【例】喜び — うれしい

^{とい くうふく}【問】空腹 — ？

Ⓐ

ねむたい

Ⓘ

^{あそ}遊びたい

Ⓢ

^た食べたい

Ⓝ

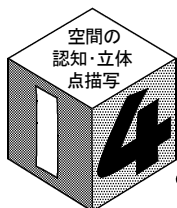
^{やす}休みたい

5 ^{した}下のことばを^{なら か}並べ替えて、^{ぶん}文にしてね。

^{でんしゃ の}電車に乗って、^{ともだち}友達の、^{にちようび}日曜日に、^{ゆうえんち い}遊園地に行く、さっちゃんと

6 ^{した}下の3つのことばを使って文を作ろう。

^{いぬ どて}犬、土手、けんか

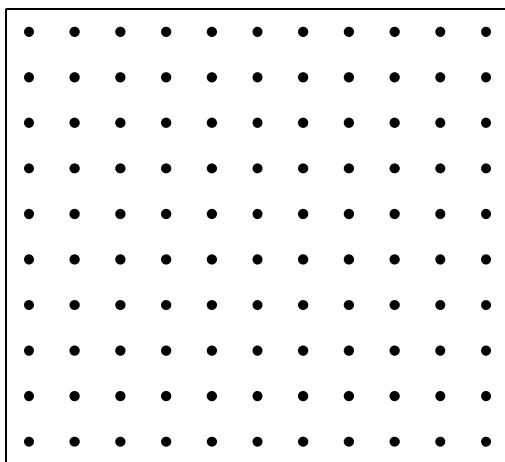
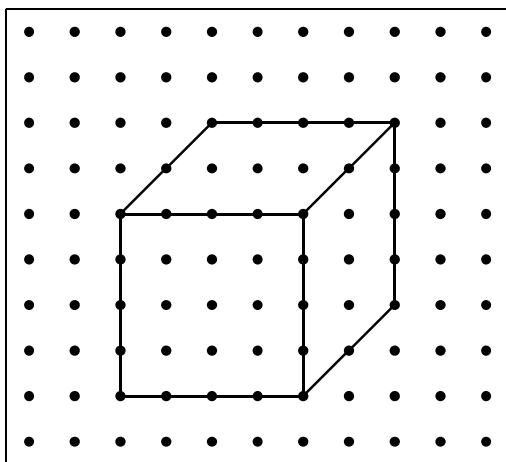
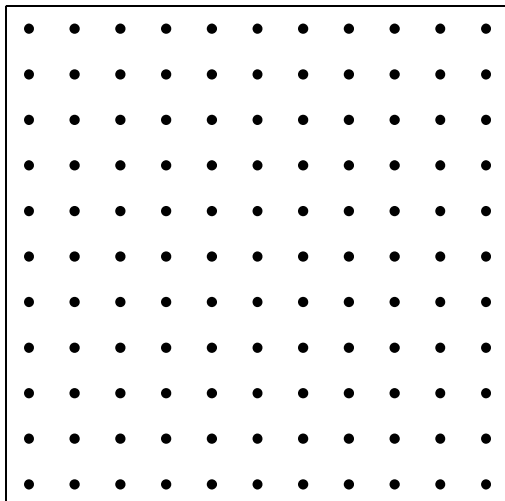
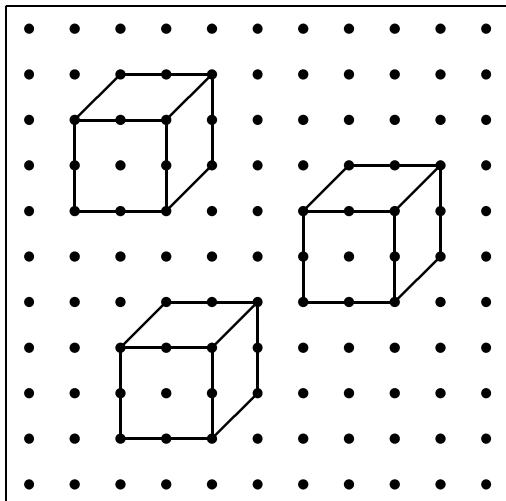


月 日 曜日

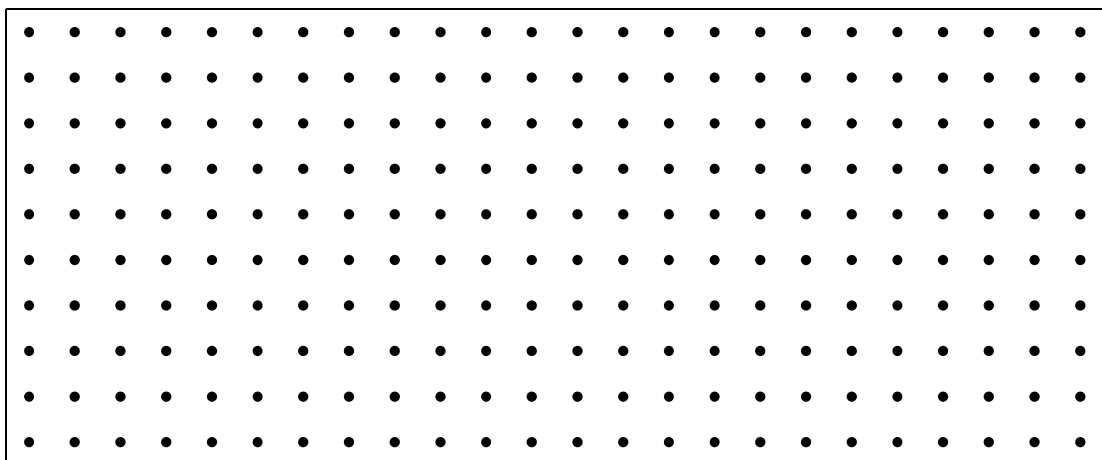
空間図形を模写(再現)することで、空間的表現能力を育成します。



ひだり みほん みぎ えが うつ け じょうぎ つか
 左の見本を右に描き写そう。消しゴムや定規を使わないようにね。



じ かん じ ゆう えが
 ▼ 時間があったら自由に描いてみよう。



保護者のみなさまへ

◆本教材は、教科授業の前に行う「あたまの準備運動」教材です。

授業や学習は、記憶力や思考力など、あたまの機能を高めるための「トレーニング」です。一般的に、体育やスポーツには準備運動が必要です。それはその取り組みの結果をよくするばかりでなく、怪我などのアクシデントを未然に防ぐためでもあります。

学習もスポーツと同様に「集中力」、「瞬発力」、「持続力」などの能力が必要であり、また、それらのバランスも大切です。したがって、短時間での学習効率を高めるには、「学習のための準備運動」が必要となります。

最近、話題になっている「学力低下」現象の原因のひとつは、こどもたちの学習意欲(学ぶ姿勢)の低下です。それは、こどもたちの学ぶ態勢が整っていないにも関わらず、授業が「見切り発車」されるために、「取り残されてしまうこと」に起因しています。ですから、「授業前の準備運動」を行うことで、学習する「あたま」と「きもち」を整えることが必要です。

* * * * *

本教材の使用は、こどもの自主性を促し、思考力や創造力、表現力などのあらゆる教科に共通する大切な基礎学力の育成につながります。答えがひとつでも、解法や手段が決してひとつでないことを発見します。ものごとの関係や規則性など、目に見えないものを見抜く力が向上することは、問題の解決方法を発見するとともに、人間関係における「相手を理解する能力」、「自分を表現する能力」を向上させます。よって、指導者の話の内容をより理解でき、自分の考えを表現できるようになるので、自然に学習効率が高まるのです。このように、こども自身が「学ぶ姿勢」を身につけ、「結果を出す」経験を積み重ねることによって「自立」していくことができるのです。

◆本書の構成と内容紹介および効果について

数の合成・分解

… 数と数の関係(演算)を推理・思考し、計算の工夫を発見します。
→ (加減乗除の計算、方程式、計算の工夫などに効果)

平面図形の推理・思考

… 図形の合成・分解(組み合わせ、移動、回転、対称など)を推理・思考します。
→ (へんやつくりなどの漢字の構成、図形の構成、対称図形など図形全般に効果)

論理・構成、関係の把握

… 直接目に見えない「規則性」や「関係」などを推測し、ものごとを多角的に考察します。
→ (「行間を読む」「作者の気持ち」「文章(段落)の構成」、等式・不等式、「速さ」「食塩水」、比例と関数などに効果)

言語の基礎

… ことばの意味などを理解し、自分の考えを滑らかに表現します。
→ (全教科に共通して効果)
※思考力およびコミュニケーション能力を育成します。

空間の認知・描写

… 空間図形を模写(再現)することにより、空間的表現能力を育成します。
→ (空間図形全般に効果)
※作文などの立体的(空間・時間)表現、理科や社会における事象の関連の立体的理解に影響を与えます。
